

2023



助けあい 支えあいで 縁結び あいあいねっと通信

1月

新年、明けましておめでとうございます。本年も皆様がご健勝でご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

あいあいねっとでは、ここ数年、個人の方に食糧支援を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響で、経済的不安が高まり、個人支援を求める連絡が相次ぐ中で始まった個人の方への食料提供は、2020年4月から2022年12月末までに累計702件(2022年月平均35件)となりました。昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻の影響により、記録的な円安で物価は高騰し、食料支援を求める声は増加しています。また、より具体的な支援に繋げたいと、昨年6月より開始した「食料無料配布会」には、毎回40件前後の参加者があり、多く方が法律相談や暮らしの相談コーナーを利用されています。利用者は、20~70代以上と幅広く、「物価高で子どもがいるとお金がかかるので、大変助かっています。お米やナップキンなどを頂いて、とてもありがとうございます。」「年金だけで大変な生活です。もっと色々な情報がほしいです。」など、涙を浮かべて感謝を伝えられる方もおられました。この取り組みを行うにあたり、多くの企業・団体、個人の方が食料の提供や寄付で支援してくださり、大変感謝しております(2022年取扱量41.2t)。私達の取り組みは、数日分の食料提供しかできませんが、利用された方が少しでもほっとできる地域の場として継続させていきたいと思います。

また、昨年の10月には、あいあいねっとのスタッフ12名が、消費者庁認定の「食品ロス

削減サポーター」の認定をいただき、食品ロス削減の日には、広島市環境局主催のイベントに参加し、啓発活動を行いました(3面)。地域の学習会などでも食品ロス削減の講演を積極的に行うなど、少しずつではありますが、啓発活動も開始しております。経済、環境、生産などいろいろな側面から「食」をとらえ、食べることについて、地域の皆さんと考えていけたらと思っております。

さらに、マイクロン財団より助成金をいただき、「こまつた」を解決する社会づくりを目指した取り組みも企画しています。日本では、平均寿命が長く、年金が少ない高齢女性の貧困が心配されており、あいあいねっとの活動でも実感するところです。今年の2月5日(日)には、上野千鶴子氏(東京大学名誉教授)を呼んでの講演会を安佐北区可部公民館多目的ホールにて開催します。どうぞ、ご参加ください(別紙参照)。

今年も、地域のボランティアさんをはじめ、ご協力くださる多くの皆様とともに、安心して暮らすことのできる地域社会を目指して参ります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



★日々の活動は、facebookで公開中

食べ物は食べるためにある！ “もったいない” のない社会を創る！

フードバンク活動

食品ロス削減活動

健康づくり活動・まちづくり活動

私たちは、食品関連企業から、規格外・包装破損・印字不良などの理由で、食べ物としては品質にまったく問題がないにもかかわらず、商品として扱えなくなつた食品(食品ロス)を無償提供していただき、それを食べることに困っている人々のもとに届けるとともに、地域の活性化に活かしています。

【編集・発行】

社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと

■住所：広島市安佐北区可部3-9-21

■TEL：082-819-3023

■FAX：082-815-6666

■Email：aiainet@nagominosato.jp

■web：http://www.aiainet.org/





『新年の抱負』

社会福祉法人正仁会 フードバンク事業 あいあいねっと代表 原田佳子

新年 あけましておめでとうございます。

さて、日ごろ感じている身近なことから一つお話ししましょう。高齢者にとって、地域の繋がりは、最後のセーフティーネットと言っても過言でないくらい重要です。自分のことで恐縮ですが、93歳の母が、田舎で一人暮らししています。忙しさを理由に親不孝している私にとって、頻繁に母に声をかけ様子を気にしてくれるご近所さんは、心の底からありがたい存在です。そんな母ですが、彼女も彼女なりに、地域のネットワーク構築と維持に心を砕いているようです。だれでもいつでも welcome になるよう、わずかな年金をやりくりしお茶や菓子の用意に余念がありません。旅行に出かけても、一番気にかけるのは、ご近所さんへのお土産です。しかし、そのセーフティネットを支えるのにお金が必要なのは言うまでもありません。そんな高齢者の大切な命の綱の一つである年金が、毎年減っています。そこに、追い打ちをかけるように物価の高騰。どのようにしてやり繕うすればよいのやら。高齢者が集まれば、このことに話題が集中します。食事の量を減らすか、内容を落とすか。もしくは、地域の繋がりを希薄にして支出を抑えるか。

かつて、管理栄養士現役のころ、食費を削ってでも近所づきあいを大切にする多くの高齢者を見てきました。しかし、食費を少なくすると、低栄養から要介護の懸念が生じますし、地域の繋がりを希薄にすると、だれにも気づかれることなく孤独死を迎えるのではと心配になります。やれやれ、新年のスタートに当たって、少々暗い話題になりましたが、そんな時だからこそ、あいあいねっとの出番と気持ちを引き締めながら、最後は元気にいきましょう。あいあいねっとは、今年も、みんなが元気で仲良く楽しく暮らすことのできる地域社会を目指して邁進する所存です。旧年どうよう引き続きご支援賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

祝 食品ロス削減サポーターに 12 名が認定されました！！

この度、あいあいねっとのスタッフ、ボランティアの 12 名が、『食品ロス削減サポーター』に認定されました！『食品ロス削減サポーター』とは、地域において食品ロス削減の周知・啓発を行うことを目的に、地域等において食品ロスの削減を担う人材を育成するため、食や環境問題に一定の知識を有した団体の会員向けに、消費者庁が認定している資格です。昨年から認定を開始した新しい資格です。2022 年の夏に、志願した 12 名が「食品ロス削減推進サポーター育成講座」を受け、試験に合格しました。初回の合格者のみに配布されるバッヂ（右上写真）と認定証をいただきました。バッヂは作業用のエプロンに、認定証は、あいあいねっとの事務所に飾りました！！あいあいねっとのスタッフ一丸となって、これからも食品ロスについて考えながら、地域の皆様と共に食べ物を大切に食べるための活動を行いたいと思います。





パートナーさんのご紹介

[つながる愛 三田・地域食堂]様は、2022年11月27日にオープンしたばかりの新しい地域食堂です。地域の子どもから高齢者まで「みんなちがって、みんないい！！」をモットーに、食を通して他世代が交流し、お互いが認め合い、尊び、支え合う「愛」でつながる、ほっこりとした居場所、楽しい食堂を目指して活動を開始されました。

主旨に賛同する方は、三田・地域食堂の活動に参加できるということで、代表の今枝様よりお説明いただき、12月18日のクリスマスイベントに、あいあいねっとから2名、三田クリニックとディサービスみたより2名、医療法人社団恵正会より2名がお手伝いとして参加させていただきました。私たち以外にも、地域のボランティアさんはもちろん、遠方からもボランティアさんが参加されており、勝手の分からない私たちも、優しく迎え入れてくださいました。ありがとうございます。

この日は、雪が積もるほど寒さでしたが、60名ほどの方が参加されました。メニューは、ごはん、シチュー、マカロニサラダ、カップケーキ、果物の盛り合わせ、ビネガードリンクでした。クリスマスプレゼントの手土産も用意されていました。オカリナの演奏もあり、大変楽しいイベントとなりました。今回のため、近隣のいちごハウスやスーパー、個人の方から、多くの食材やクリスマスプレゼントの寄付が集まっていました。あいあいねっとから提供した食材が活用され、皆さんの笑顔を直接見ることができ、とても嬉しくなりました。

三田・地域食堂さんのような、ほっこりとした楽しい地域の拠点が新たに増えたこと、とても嬉しいです。また、機会がありましたら、お手伝いさせていただきたいと思います。引き続き、宜しくお願いいたします。



食品ロス削減活動・・・・・・・・

10月30日の「食品ロス削減の日」に、広島市環境政策課主催「食品ロスを減らそう！スマイル！ひろしま広場」が開催されました。あいあいねっとをはじめ広島市内のフードバンクや子ども食堂支援センターなども参加しました。あいあいねっとのブースには、お年寄りから小さなお子さんまで楽しく学ぶことのできる、お馴染の「食品ロス削減かるた」と「食品ロス削減すごろく」を用意しました。お子さんはもちろん、久しぶりのボードゲームに大人も大いに盛り上がっていました。その他にも、広島女学院大学、広島文教大学などの大学生が発案したエコレシピ紹介ブースや食品ロス削減クイズラリー、展示などが行われました。フードドライブのコーナーには、多くの家庭のもったいない食品が集まり、食品ロスのことが市民の間に知られつつあることを実感しました。





『20年後、30年後を見据えたパラダイムシフト』

社会福祉法人 正仁会 業務執行理事 松林克典

新年あけましておめでとうございます。今年も新たな年を迎えました。

しかし、“おめでとう”と祝辞を表すのが憚られるくらいに世界は混沌としており、あちらこちらで紛争が起こり、東欧では戦争が間もなく一年を迎える、今でも日々こどもを含んだ多くの人たちが犠牲となっています。自然環境も不安定で世界の至る所で大洪水や大干ばつが極端な様相で繰り返され、温暖化によって国家が水中に沈みそうになっているところもあります。国内では新型コロナウイルスによる感染拡大の第8波の渦中でとうとう4年目を迎えることになりました。今もあちらこちらでクラスター化した医療・介護事業所が散見されます。穏やかであろうとなかろうと月日は自然に巡るため、節目に重きを置く日本人は冒頭の挨拶を交わして新年を迎えます。心機一転という気持ちの切り替えとともに、これからの中の明るい未来を嘱望するという意味ではたいへん大切なことのように思われますが、とてもめでたさを覚えられるような雰囲気ではありません。

“あいあいねっと”的活動もパートナー企業・団体との連携から個人レベルへの支援に拡大していますが、続くコロナ禍に加えて物価高騰の影響から生活を維持することに困っている方々が増えているように感じます。このような不安定な世の中では“こども”を産み育てることに不安を覚える若者も少なくないのでしょう。正確な集計値はまだ出ていませんが、2022年の出生者は、恐らく80万人を割り込むと思われます。これは政府の試算を10年近く前倒している数値となるようです。超高齢社会に加えて少子化、人口減少に拍車がかかる中にあって、社会保障の担い手がますます少なくなっています。

一方で、世界人口は増加の一途で80億人を超えるました。直近の20年強で20億人も増加しています。江戸時代の長きにわたる鎖国のせいか日本人は保守的で排他的であるため、なかなか外国人の受け入れに寛容ではありません。しかし、今後は外国人が自由に往来できる国家スタイルを目指さなければ人口動態の観点から衰退の一途を辿ってしまうかも知れません。私自身も治安や風土・文化のことを思えば、多様な人種の坩堝（るつぼ）となった日本を想像しにくいところですが、今や日本人だけでは成り立たない国家が目前に迫っているように思われます。いよいよ地球を俯瞰するグローバルな視点から日本を考えられるようパラダイムシフト（発想の転換）が求められる時代となったのです。みなさま、これらの事実を受け止め、これから先の20年、30年をどのようにお考えですか？

私たちの活動をご支援いただいている事業者様・団体様をご紹介します

- ◆旭食品株式会社広島支店◆有限会社アトラス・コーポレーション◆アルフレッサファーマ株式会社
- ◆アヲハタ株式会社◆株式会社イズミ◆イズミ・フード・サービス株式会社◆株式会社うすい中華麺
- ◆株式会社エコールドフルール◆江崎グリコ株式会社◆株式会社SKYコーポレーション◆株式会社エムズホーム
- ◆株式会社M&K◆株式会社M&Cコラボレーション◆おおたけ株式会社◆株式会社沖野建築設計
- ◆有限会社オフィスシン◆キユーピー株式会社広島支店◆医療法人社団恵正会◆有限会社健康宅配ネット
- ◆カルビー株式会社◆有限会社山菜木村◆ジャパンフード株式会社◆スターライト工業株式会社
- ◆生活協同組合ひろしま◆田邊農園株式会社◆ダイキヨーニシカワ株式会社◆ダイハツ広島販売株式会社
- ◆株式会社ダイヤス食品◆チチャス株式会社◆中国電力株式会社◆中電環境テクノス株式会社◆東京海上日動火災保険株式会社◆東芝テックソリューションサービス株式会社◆戸田建設株式会社◆株式会社トーホーフードサービス
- ◆株式会社ナリコマエンタープライズ◆有限会社ニシオカ◆広島アグリフードサービス株式会社◆広島駅弁当株式会社
- ◆広島ガス株式会社◆公益財団法人広島市農林水産振興センター◆広島綜合警備保障株式会社◆広島海苔株式会社
- ◆広島森永乳業株式会社◆株式会社フォーリーフ◆藤井医療器株式会社◆株式会社藤三◆株式会社vegeta
- ◆株式会社ポプラ◆マルコメ株式会社◆マルサンアイ株式会社◆マックスバリュ西日本株式会社
- ◆株式会社マルバヤシ◆ミック株式会社◆三菱地所株式会社及び三菱地所プロパティマネジメント株式会社
- ◆株式会社ミライト◆株式会社ミルックス広島支店◆明治安田生命保険相互会社◆山崎製パン株式会社広島工場
- ◆ゆかり屋本舗株式会社◆株式会社ユキ・コーポレーションラ・パン◆株式会社良品計画